１．研究開発概要

・評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図や表も用いてください。

・様式1については、A4用紙10ページ以内(厳守)にまとめてください。

・研究開発概要に記載していただく項目は下記（１）から（６）までです。公募要領の「目的」に合致することが明確になるよう、各項目について下記に書かれている指標を必ず記載してください。なお、独自に項目や指標を増やしていただくことは構いません。

ご提出いただく際には、記入要領を記載した　　及びその中の記載は削除してください。

（１）研究開発の背景

・本テーマへ応募するにあたっての、既存の研究開発との関係、関連分野の動向等を踏まえた背景を、これまでの研究開発活動（研究開発水準の現状・実績等）を踏まえて記載して下さい。なお、関連分野の動向には、研究代表者以外の動向や成果も含めて記載してください。

（２）実施する研究開発内容及び目標

・本テーマにおける目標を挙げ、それを達成するために実施する研究開発内容を具体的に記載してください。

・特に、平成29年度末までにどのような成果が期待できるか、1年間延長された場合に平成30年度にはどのような成果が期待できるかは明確に記載してください。

・1人の研究代表者もしくは同一の研究開発チームのメンバーが複数の研究開発テーマに応募している場合、複数テーマを同時に実施することのメリットがあればお書きください。

（３）研究開発計画及び方法

・上記研究開発を行い、研究開発目的を達成するための具体的な手段及びプロセスについて、平成27年度から平成29年度までの期間及び、1年間延長された場合を想定して平成30年度の期間に分けて、具体的かつ明確に記述してください。

・タイムスケジュールを示すとともに、適切なタイミングでのマイルストーンを設定してください。

・研究開発成果を社会実装するための戦略があれば記述してください。

・提案する研究開発において想定される知的財産権（出願やライセンス、その管理を含む）の取扱いに関する考え方を記述してください。

（４）提案の重要性及び新規性

・提案する研究開発に対する従来技術との差別化、提案方法の優位性、新規性等について、比較する研究開発等を紹介しつつ記述してください。

・出来るだけ国内外の動向、国際水準から見た現状等を含めて記載してください。

（５）「次世代海洋資源調査技術」の既存の取組みとの有機礫連携により見込まれる相乗効果

・上記研究開発を行い、研究開発目的を達成するための具体的な手段及びプロセスについて、平成27年度から平成29年度までの期間及び、1年間延長された場合を想定して平成30年度の期間に分けて、具体的かつ明確に記述してください。

・適切なタイミングでのマイルストーンを設定してください。

（６）実用化・事業化への戦略性、達成度合い

・研究開発期間終了後も含め、本テーマにおける取組み及び研究開発成果がどのように我が国の海洋資源調査産業の発展もしくは国際標準化に貢献する見込みがあるか、記述してください。